

行事カレンダー

全体行事

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

- 2月 ◇ 2日 戸頭英会話講座
 ◇ 4日 世界の料理 10:00～
 TCS 13:30～
 ◇ 7日 藤代駅橋上ギャラリー搬出 9:30～
 かから版郵送 10:30～
 ◇ 14日 かから版編集会議 10:00～
 ◇ 17日 役員会 13:30～
 ◇ 23日 さくら荘シニア英語
 ◇ 25日 交流部会 13:30～
- 3月 ◇ 2日 戸頭英会話講座
 ◇ 4日 TCS 13:30～
 ◇ 17日 役員会 13:30～
 ◇ 18日 交流部会 13:30～
 ◇ 23日 さくら荘シニア英語

日本語教室

2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

- ◇中央教室(福祉会館)
 *金曜 10:00～11:30
 *金曜 18:00～19:30
- ◇戸頭教室(戸頭公民館)
 *日曜 10:30～12:00
 *火曜 19:30～21:00

取手市内イベントのご紹介

《取手ひなまつり》

開催日程 2018年2月11日(日)～3月3日(土)
 期間中は市内各所につし飾りやおひな様が展示されます。日本の文化をお楽しみください。

- ◆ひなパレード 2月24日(土)
 100人を超える幼稚園児が着飾ってパレードします。
- ◆取手ひなまつり縁日 2月24日(土)・25日(日)
 美味しいものに出逢えるかも...

他にも、市内各所で様々なイベントが予定されています。

《ゆめあかり3.11 ～続ける祈り、繋がる想い～》

開催日 2018年3月10日(土)午後2時46分～午後7時
 ※荒天時3/11に延期

会場 水と緑と祭りの広場(取手市役所藤代庁舎)
 ゆめあかり3.11では、東日本大震災への願いや思いを白い紙袋に描き、その中にキャンドルをいれた「紙袋キャンドル」が灯ります。今回は世界より参加されたあかりも一斉に灯ります。TIFAも日本語教室が紙袋キャンドルにメッセージを記入して参加します。

《各問合せ》 電話:0297-74-0217(取手市観光協会:産業振興課) Mail: toride-kankou@city.toride.ibaraki.jp

連絡先

取手市国際交流協会(TIFA) ◇事務局 取手市役所秘書課内

- TEL 0297-74-2141 内線 1112
- E-Mail hisho@city.toride.ibaraki.jp
- ホームページ <http://www.tifa-japan.com>



ホームページのQRコード



Toride International Friendship Association



かから版

取手市国際交流協会

第104号(2018年2月)

も	* 会員懇親会	1
く	* 藝大交流会	2
	* TIFA活動展	2
	* 日本語教室NOW	3
	* 行事カレンダー	4
じ	* 市内イベント紹介	4

会員懇親会



一年に1回会員相互の懇親を図るための会員懇親会が12月10日(日)藤代公民館で開催されました。当初、会場の確保が難しく開催が危ぶまれましたが、皆様の協力により、無事開催することが出来ました。

総合司会は中国出身の呉さんをお願いしました。懇親会は志村会長の開会挨拶で始まりました。会場は立食形式で8つのテーブルに軽食、飲み物、会員の方の差し入れが並べられ、会員は食事をしながら、会話を楽しみました。

アトラクションは福元さんの軽快な司会で始まりました。まず、最初は「世界の民俗衣装」あてクイズで、スクリーンに世界各国の美女が美しい衣装を着た映像を写し、どの国の衣装か、当ててもらいました。

次に、沖縄の民俗芸能「エイサー」を「とんとんみー」の皆様披露していただきました。最後に皆で「カチャーシー」を踊り大変盛り上がりしました。

最後のアトラクションは「皆で歌を唄おう」のコーナー、まず、昨年ピアノ伴奏していただいた近藤さん、坂上さんによりXmasソングメドレーを弾いて頂きました。次に皆で「ジングルベル」「きよしこの夜」を合唱しました。最後に「上を向いて歩こう」を日本語、英語、中国語、ポルトガル語で唄いました。

総数約100名近い参加者があり、懇親会の目的である、会員相互の懇親が十分果たされました。取手市の藤井市長も参加され、外国出身者との会話を楽しまれました。

鈴木 忠男

藝大交流会



今年も東京藝術大学に招待されて「留学生と地域の方々との交流会」(2017年11月14日)にTIFAから5名(萩原・佐々木・林・原田・小田島)が参加してきました。

開会の挨拶の後、東京藝大(副学長)・松戸市国際交流協会・TIFA(萩原副会長)・留学生代表等から挨拶があり、それぞれが持ち寄ったお菓子・酒・おでんなどを食べながら留学生たちと懇親を深めました。

私は松戸市国際交流協会の理事長と韓国から音楽部に来ている留学生と歓談しました。

理事長からは松戸市国際交流協会の運営体制、特に企画・立案部署の分離および在留外国人の多様な要望に対する各種イベントの立案・実施など興味深い話が聞けました。一方音楽を専攻している韓国人の留学生は国費で日本に来ており韓国で習ってきた

日本語は流暢で身なりもきちっとしており休みの日には観光地巡りをしているそうです。

私から彼に日本人から支援してもらいたいことはありますかと聞くと何もないそうです。

現在日本にはいろいろな在日形態(技能実習生・永住者・留学生・難民など)の外国人が住んでおります。取手市内にいる約1,540名の外国人たちも在日形態は多様であり彼らは日本で生活する上でさまざまな悩みや問題を抱えています。

特に彼ら自身では解決できない種々の課題(日本語・子ども教育・風習等)をTIFAが吸い上げて実行可能な具体的支援策を模索する必要があるのかなど考えさせられました。

小田島 満哉



TIFA活動展



取手市国際交流協会(TIFA)では、日頃の活動を知っていただくため、毎年、活動展を開催しています。

今年は1月24日から取手駅市民ギャラリーで、1月31日から藤代駅市民ギャラリーで各1週間展示を行いました。

模造紙26枚のパネルを作成し展示しましたが、各パネルとも写真をたっぷり使った力作そろいで、分かりやすく、見た目にも魅力たっぷりの仕上がりでした。

また、JICAの協力を得て、海外で活躍している海外青年協力隊の活動も紹介しました。

この「TIFA 活動展」が多くの取手市民の皆様の目に触れ、TIFA 活動への理解が広がることを期待しています。

林 澄子

日本語教室 NOW

「ありがとう・ごめんなさい」

中央教室 カティ・スツマ(ネパール出身)



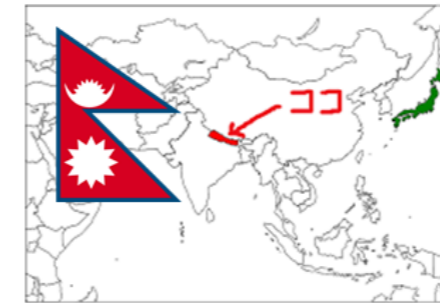
私はカティ・スツマです。一年前にネパールから来ました。取手市に住む中学三年生です。家族は六人です。

ネパールにはたくさんの花がさいています。日本でも、黄色いひまわりや赤いバラを見つけると、なつかしいです。

バスでカトマンズに行って、洋服を買ってもらったり、みんなでダルバートをたべました。とてもたのしかったです。(※ダルバートとは日本の定食『味噌汁、ご飯、副食』の組み合わせのようなもので、ネパールでは毎日食べられています。)

はじめてディズニーランドに行った時、ミッキーとミニーに会いました。ミッキーのぼうしを買ってもらって、とてもうれしかったです。

日本の言葉で大好きなのは、「ありがとう・ごめんなさい」です。日本ではだれかに会うとおじぎをします。私はおじぎをするのも好きです。



日本語ボランティア・スキルアップ講座を受講して

戸頭教室 宮本あつ子

日本で暮らし始めた外国の方々は、大なり小なり日本語学習が必要になります。

教室にやって来た学習者へのサポートとして、何をどう伝えたらよいか、果たして使えるようになったのか、もっと学びたいと思って貰えたかなど、ボランティアとしての私達の悩みは尽きません。

そこで11月と12月、佐藤有紀先生にスキルアップ講座を開いて頂き「国語文法と日本語文法の違い」「『みんなの日本語』を実践的に使うために留意すること」「役立つような様々な教材」を示して頂きました。

「文型練習は有用。ただ何が役立つかは学習者の状況により異なる。学習者の知りたがっていること、何が切実なのかを把握することが大切」と教えて頂きました。

漢字も日常目にするものを優先させ、成り立ちや関連語に気付かせること効率的に学んで貰えると知りました。

カードなど補助教材の活用は勿論、ボランティア自身も役者になることで、より活発な学習活動が出来ると思いました。

そして何と言っても一番大切なのは、普段からの私自身の準備工夫と痛感した二日間でした。



2017.12.9 スキルアップ講座